

パソコン入門のコツ

by whitecaps

この文書の目的と対象：

この文書は新しくパソコンを使い始めた初心者向けに、どういう心構えでパソコンを操作するのが上達の早道なのかを記します。パソコンのOSはWindows XPでの使用を想定しています。

はじめに

パソコンを使い始めた人には、どうやったらパソコンを使いこなせるようになるのか悩んでいる方もいると思います。しかし今パソコンを使いこなしている誰もが最初からパソコンを軽々と使いこなしていたわけではありません。必ずそこには成長過程があるのです。そこでこの記事では、パソコンを使い始めた初心者の人のためのパソコン上達の方法について書きたいと思います。実際のそれぞれのソフトの使用法などについてはこの文書では触れません。

上達のコツ

普通パソコンを使い始めた人には、パソコンは「説明書を読んで」使うものだと思っている方も多いかと思います。もちろん説明書を読むのは重要なことですし、市販の図解書も有用です。説明書を読んで操作しないとパソコンがうまく動作してくれないこともあります。

しかし実際のところこういった習得の方法がパソコンの操作方法を知る上での全てではありません。それは説明書や市販書では網羅できない利用上のコツがたくさんあり、ニッチ的な操作についてはそれらに書かれていないことが多々あるからです。では、こういった風に学ぶのがいいのかというと、それは

「とにかく操作してみる、そして反応を見る」

と言う方法です。

とにかく画面に表示されているあらゆるそれっぽいものをクリックしてみる。またはダブルクリック、またはドラッグ&ドロップしてみる。そうしてから画面にどのような変化が起きるか、これを見るということです。

「そんなことしてパソコンが壊れたりしないのか」と心配する方もいるでしょう。しかし心配は無用です。操作の種類にもよりますが、普通に操作している限り基本的にパソコンに致命的なダメージを与える操作をするようなことはまずありません。

どういときには気をつけるべきか

ただ、それでもやっぱり気をつけておきたい場面はあります。以下、注意が必要な状況を列挙します。

- システムに触れるとき
- インターネットを利用しているとき
- ファイルなどを削除するとき

システムとはパソコンが動くときの基幹となるソフト群や設定のことです。システムはあまりいじると問題も出てきます。しかし初心者がふつう触るような操作ではシステムに変更を加えるような操作はしないのでまず大丈夫です。ただしソフトのインストールの時などは注意しなければなりません。ソフトをインストールするということは、システムになにかしらの変更を加える操作をしているということだからです。

インターネットに接続しているということは、その操作がそのパソコンの中だけで完結していないということで、外部と繋がっているということを示します。インターネットは基本的にタフに作ってあるので、ユーザーのちょっとした操作ミスで何か重大な問題が起きると言うことはあまりありませんが、情報をこちらから送るときには注意が必要です。Web ブラウザなどでホームページ上のボタンを押したり、文字を入力したりすると情報がインターネット上に送信されることがあります。なのでプライバシーに関わる情報を入力したり、掲示板など他の人が見るようなサイトに情報を書き込むときは注意が必要です。

三つ目の、「ファイル削除するときに注意が必要」なのは何となくわかると思います。システムファイルを削除していけないのはもちろん、書類ファイルも削除したりすればもちろんデータが失われます。パソコンにはゴミ箱という機能があって、必ずここで一旦ファイルを溜めてから削除することになりますが、ゴミ箱の中からもデータを削除すれば、それを復活させるのはとても難しいことです。また、システムやアプリケーションのファイルについて言えば、削除だけでなく移動することも危険です。

操作のコツ

ではここからは、実際に操作するときのヒントを示したいと思います。

操作を行って問題があったなら、それを取り消したいものですね。ソフトによっては操作を取り消しできるものもあります。大抵それはメニューから [取り消し] を選択すれば行えます。また、復帰の難しい操作を行おうとすると、多くのソフトはメッセージウィンドウを表示して確認してきます。キャンセルボタンがそのウィンドウにある場合はそれを使って操作の実行を取り消せます。また、ソフトによっては「リポート」と言って、その編集中的数据をファイルを開いたときの状態に戻す操作ができるものもあります。

キャンセルボタンは活用したいものですが、インターネット上では注意が必要です。悪質なサイトによってはいかにもキャンセルボタンのように見せかけて、実際はそれがユーザのコンピュータに危険をもたらすものであることもあります。インターネット上ではキャンセルボタンを見かけてもそれに対しても注意が必要です。

ソフトの設定をいじるときは、これもコツがあります。設定をいじって反応を見るのはちょうどいい上達法ですが、もし設定を変更しても反応が見られないときは、その状態ではすぐには画面に現れない変更の可能性があります。もしこれをそのままにしていると、後で思わぬ反応をパソコンが示したり、説明書通りにソフトが動かないなどという事態が起こるかもしれないので、反応がわからない設定項目をいじったときは設定を元に戻しておきましょう。

注意ダイアログにはあまり意味のないものもあつたりしますが、大抵は何かしらの意味のある警告を発しています。注意ダイアログが出た場合は、その名の通り注意して警告文を読みましょう。適当にパッパッと [OK] ボタンを押しまくって操作したりしていると、取り消しできない操作をしてしまうこともあります。

何かをクリックするなど操作してみて反応がない場合、もう一度やってみるということのは有効です。2回目をやってみるとちゃんと動いたというのはよくある話です。ただし、パソコンの性能ややっている動作によってはパソコンが操作に対して反応するのに時間がかかることがあります。そういう場合はたとえばマウスボタンを連打するなど言うことはやっけてはいけません。少したってからいきなりパソコンの反応が戻って連打の結果が実行されることがあり、思わぬ操作が実行され意図しない反応が起きることがあります。操作を繰り返してよい目安はだいたい3回ほどまでです。

また、パソコンというものは、その時の調子次第ではうまく動かないなんて言うそんなものです。（私がよく思うことは、「パソコンというのは機械のくせに結構人間的」なものだということです。）で、そう言うときはいろいろと方法が考えられるのですが、最も簡単でそしてたいいの場合でも使える方法とは、「再起動してみる」と言う方法です。あるソフトの動きがおかしい場合は、一旦終了させてからもう一度起動してみる。パソコン全体の動作がおかしい、反応が遅いと言う場合もパソコンそのものを再起動してみる。そんな単純な方法でも、再起動したらちゃんと動いた、なんて場合があります。もちろんそれでも直らない場合は他の方法を考えることになります。場合によってはウイルスという可能性もでてくることもあります。

ファイルを見分ける

ファイルの種類は基本的にアイコンと拡張子で区別できます。アイコンとはファイルの種類を抽象的に表す小さな画像で、フォルダウィンドウを開けばそこに並んで見えるのがアイコンです。拡張子とはファイル名のうち「.」（ドット）の後に付いてくる大抵三文字の英数字のことで、Windows XP においては使い始めたままの設定では表示されない設定になっています。

一概には言えませんが、アイコンとしては歯車のあるようなアイコンを持つファイルというのは操作には要注意です。歯車が描かれたアイコンを持つファイルというのはシステムのファイルとして大抵複数

のファイルで連携して動作しています。このようなファイルを削除したり移動したりすると何かしらのソフトが正常に動作しなくなることがあります。

ちなみにコンピュータウイルスなどによっては自身のアイコンを偽装してユーザをだまそうとすることがあります。アイコンはあくまでも一つの表示であって、絶対ではないということを覚えておいてください。

また、拡張子でもファイルの見分けが付きます。Word書類では「.doc」と後ろに付いていますし、アプリケーションの本体ファイルには「.exe」という拡張子が付いています。とくに「.exe」を持つファイルには注意してください。単純に言うと「.exe」を持つファイルは「何でも出来る」ファイルです。この「.exe」が付いたファイルを不用意に動作させると、それがウイルスであったりして、システムに変更を加えてパソコンに不具合をもたらすかもしれません。「.exe」のファイルは本当にそれが信頼の置けるソフトなのか、信頼の置けるところから入手したものなのか注意してください。

おわりに

以上が私の経験から言えるパソコン入門のコツです。思えば自分も子供の頃「とにかく操作してみる、そして反応を見る」方法で少しずつ操作法を覚えたものでした。ここで書いたことはパソコン上級者にとっては当たり前のことに思えるかもしれませんが、しかし誰もが最初から知っているものでもありません。ビギナーの方がこの記事を読んでコツをつかみその力を伸ばせることを願います。

■ (2008.10.30)

おまけ：拡張子が表示されないときは

ファイルに末尾に拡張子がついてないというときは、Windowsの設定で拡張子が表示される設定になっているか調べて、表示されるように設定を変えましょう。設定方法ですが、まずどれでもよいのでフォルダを開いてメニューの「ツール」から「フォルダオプション」を選びます。そして表示されたウィンドウで「表示」タブを選び、「詳細設定」の中の「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外します。これですべてのファイル拡張子が表示されるようになります。

whitecaps のつぶやき：

私はどんな技能にも「臨界点」というものがあると思っています。パソコンというものは初めからだれもが使いこなせるものではありません。ある使い方があれば、それに必要な概念の理解があり、その概念がわからないとなかなかうまく操作できなくてイライラしたりすることだってあります。文章を書くとき、最初は手書きで済ませた方が楽だと誰もが思いますが、もしみなさんが少しずつパソコンの操作法を理解していったとしたら、手書きよりもパソコンで打った方が速い、そしてそれを利用しやすい、と言う状態になるときがあることでしょう。それが「臨界点」なのです。臨界点まで達すれば、もうパソコンを使うことを躊躇する理由はありません。なぜならばそちらの方が手間がかからずメリットが高いからです。臨界点に達したら、パソコンを使うことが楽しくなります。それがパソコンを使っていてなによりうれしいことです。